

## 会 議 録

### 1 附属機関等の会議の名称

令和6年度 第2回 松川町文化財保護審議委員会

### 2 開催日時

令和7年 3月 26日(水) 13時30分から16時30分

(会議)13:30～14:00 (現地調査)14:00～16:30

### 3 開催場所

会 議 中央公民館えみりあ 会議室

現地調査 池の平湿地帯・およりの森

### 4 出席者氏名

文化財保護審議委員

亀山勝保委員 小椋吉範委員 宮下稔委員 山本晃永委員 大原均委員

事務局

生涯学習課長:矢沢秀子 文教施設係:米山 梓 集落支援員:今村 由美子

### 5 報告事項

報告事項

(1)協議中案件進捗報告

(2)指定文化財の現状変更について

(3)令和6年度 文化財保護事業報告

(4)令和6年度 埋蔵文化財保護について

### 6 傍聴人の数

なし

### 7 会議資料の名称

令和6年度 第2回 松川町文化財保護審議委員会 資料

## 8 審議の概要

### 1.開会

### 2.あいさつ(生涯学習課長、委員長)

### 3.報告事項

○資料に基づき事務局から説明

- (1)協議中案件進捗報告
- (2)指定文化財の現状変更について
- (3)令和6年度文化財保護事業報告
- (4)令和6年度埋蔵文化財保護について

○質疑応答

委員 A ツツザキヤマジノギクの種は保全地の造成区にまいただけか。

事務局 今回は造成区にだけまいた。

委員 A 造成地ではほかの植物が繁茂し負けてしまうことも考えられる。造成区だけでなく、ほかの場所へもまいたほうがいいのではないか。ほかの植物に負けないような場所をさがしてまいてはどうか。

事務局 協議会では造成地の土が肥えすぎているという話もあった。専門家に意見を聞きながら検討していく。

委員 A 池の平湿地帯は次年度保全計画の策定とあるが整備等の活動はしないのか。

事務局 現時点では保全していくかどうかでも正式に決まっていない状態。調査の結果をうけて保全の方向には動いているが、まずはそこを明確にし、保全の方向性を定め、たうえで整備もしていく予定。方向性が早い段階で決まれば作業も同時並行で行っていきたい。

委員 B 池の平湿地帯は伊藤文男先生の方針で、人の手を入れないという事だったが、現在は住民にも見てもらえるようにという方向で進んでいると思う。自分もどうしていくべきかまだ迷っているが。

委員 A 湿地帯内は陸地化しているところも多くなっている。水をせき止めたりして湿地を維持できればと思う。

### 4.閉会 (終了 14:00) ⇒現地調査へ

以上